

「コロナ禍」から考える



質問項目	回答数	割合%
咳エチケットを守り、外出時や人と対面する時にマスクを着用する。	69	90.8
手洗い（アルコール消毒）、うがいなどをこまめに行う。	67	88.2
感染予防のための休校ということを理解し、不用意な外出などをしない。	67	88.2
自分が感染するかもしれない、気づかないうちに他人に感染させるかもしれないという危機感を持つ。	63	82.9
出された課題を計画的に進める。	55	72.4
ニュースや新聞などで、世の中の動きをしっかりと理解しようと努める。	43	56.6
食生活の乱れ（食べ過ぎ、清涼飲料水の飲み過ぎ、間食など）がないようにする。	42	55.3
起きる時間、寝る時間になるべく学校がある時間に合わせる。	35	46.1
毎日の検温など、健康管理を継続する。	26	34.2
スマートフォンの使用やゲームなど、時間を決めて行う。	20	26.3
その他（「掃除をこまめにする」と回答）	1	1.3

■「一斉臨時休校期間中の意識調査アンケート」5月18日実施

質問「期間中に、特にどのようなことに注意して生活しましたか？ あてはまるものすべての（ ）内に○をつけてください」に対する回答のまとめ。右端は提出者数（76名）に対する割合。

※「禍」＝わざわい。よくないこと。

第331号
2020.7.1

発行者
長沼高等学校
Tel : 67-2185
Fax : 67-2493

<https://naganuma-fcs.ed.jp/>



▲臨時休校中の教室。人がいないのはさびしいものです。

コロナウイルス感染症拡大対策としての一斉臨時休校措置が解除され、本校でも六月一日（月）から、感染リスクに配慮しながら教育活動が再開されました。再開を待っていたかのように日射しが強まり気温も上昇、久しぶりの五〇分授業と、どことなく疲労感が漂いつつも、同時に活気が感じられるようになりました。

この非常時でも、何か「学び」となったものがあつたか、を考えるため、登校日を利用してアンケート調査を実施しました。表はその結果をまとめたものです。

傾向としては、「感染予防のための休校」であることを理解し「感染しない・させない」ための行動はできていた反面、「自分の行動に関わるコントロールが不十分だった」ということが言えると思います。他の人の目があつても、自分に厳しく在り続けることは難しいものです。まして他者の目が届かなければなおさらです。

今回のアンケート調査では、上の質問以外に、「学校で学ぶことの意味」をどう考えたかについても質問しました。

- 一人で勉強していて、分からないところを教えてもらえ
- 規則正しい生活を送るきっかけを与えてくれる、生活リズムが安定する
- 他者との関わりかた、コミュニケーション能力を身につける、礼儀を身につける

寄せられた回答をおおまかにまとめると、右のようになります。

学校はもちろん「学力」を身につけるための場です。今回のコロナ禍に直面し、教科の学習だけでなく、オンライン学習をはじめ様々な可能性が示されました。しかし、オンライン学習でも、重要視されたのはテレビ会議システムを利用した「やりとり」でした。「学校での学び」は先生と生徒・生徒同士のコミュニケーションが基本であり、そのコミュニケーションそのものも、皆さんが学ぶべきことです。

皆さんの努力で、学校活動は再開できました。この機会を無駄にせず、周りの誰かの気持ちを大事にできる人間に成長してください。すぐに言い訳したり、自分の考えを他人に押しつけたり、周囲の人の心や身体を不用意に傷つけたり、そんな人間を育てるために学校は存在しているのではないことを、忘れないでください。



PTA・体育文化後援会

新型コロナウイルスの影響もあり、例年どおりという訳にはまいりませんが、四月に引き続き、保護者の皆さまをお招きしての学校活動が行われております。

◇ 五月八日

■三年生保護者対象進路説明会



▲学年一同、頑張ります！

新型コロナウイルスの感染拡大が社会活動に深刻な影響を及ぼしています。このような中、保護者の皆さまと大切な情報を共有し、保護者・学校両面から生徒の進路実現を支えていくため、進路説明会を開催しました。保護者の皆さまには、お忙しいところをご参集いただきありがとうございます。

いました。

進路について、ミスマッチを防ぐために情報交換を密にしてほしいこと、進路活動が就職先・進学先と、学校、本人・保護者の信頼関係により成立すること、進路活動を進める上での手続きの手順、奨学金等、重要事項を説明しました。

混乱して先が見えないからこそ、普段から、当たり前のことを当たり前にこなすことが大事だということを、生徒に向けて伝えています。この精神を大事に、一人ひとりが毎日を大切に過ごし、自分自身の興味関心・適性を見きわめ、力強く社会に旅立つてほしいと思います。そのために、全力で頑張ります。

※ ※ ※

この説明会から一ヶ月を経て、六月の面接週間では、保護者の方に来校いただき三者面談を行っています。専門学校進学志望者の中には、AO入試に向けた書類の準備や、面接練習などに取り組む姿も見えてきました。

◇ 五月十三日

■合同役員会

本校図書室を会場に開催しました。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、四月のPTA・体育文化後援会総会が開催できず、合同役員会も規模や開催時間を縮小しての開催となりました。関係の皆さまにはお忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございました。

様々なことが起こるからこそ、保護者の皆さまと一体となつて生徒の諸活動を支えていきたいと感じております。教職員一

同、微力ではありますが、少しでも早く「日常」を回復できるように努力してまいります。ご家庭でのご指導よろしく願ひいたします。

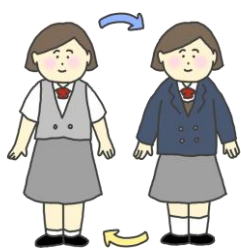


▲合同役員会の一コマ。

◇ 六月一日・二日

■衣替えに伴う服装指導・挨拶運動

例年PTA・体育文化後援会役員の皆さまにもご参加いただいておりますが、今回は状況を鑑み規模を縮小しました。冬制服への衣替えの機会には、状況が許せば是非お声をさせていただきます。



▼各会長より「挨拶

本校生徒の諸活動をお支えいただくPTA、体育文化後援会の両会長よりご挨拶を頂戴しましたので紹介いたします。

【PTA会長】

今年度、本校PTA会長をさせて頂きます横山と申します。日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により今まで経験したことのない事態に日々心配が尽きませんが、諸先生方、生徒、保護者一丸となりこの局面を乗り切り明るい未来を信じていきたいと思います。

PTA会長という大役は初めてです。ので至らない点もあるかもしれませんが、保護者の皆様にはご協力頂きながら1年間、より良いPTA活動に貢献していきたい所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

【体育文化後援会長】

生徒達のために

本年度、体育文化後援会会長を務めます、橋本礼子です。今年の初め頃からコロナの影響により数々の行事が中止、延期になっております。実施される行事は、生徒達にとって楽しい思い出、辛い思い出どんな思い出になるかわかりませんが、生徒達のために頑張りたいと思います。皆様のご理解とご協力を頂き役員一同頑張つてまいりますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。